

報告事項カ

鳥取県公立学校の教職員としての資質の向上に関する指標並びに平成31年度教職員研修計画及び平成30年度教職員研修実施状況について

鳥取県公立学校の教職員としての資質の向上に関する指標並びに平成31年度教職員研修計画及び平成30年度教職員研修実施状況について、別紙のとおり報告します。

平成31年3月15日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

鳥取県公立学校の教職員としての資質の向上に関する指標【実習教諭、実習助手(案)】

平成31年4月 日 鳥取県教育委員会

観点 キーワード	職		実習助手		実習教諭	
	キャリア スタート期 (採用時)	育成期(第1ステージ) (1~5年目)	向上期(第2ステージ) (6~10年目)	充実期(第3ステージ) (11年目以降)		
		<p>実習助手としての必要な基礎的素養・指導技術を広く習得し、実践的指導力を身に付けるとともに、学校組織の一員としての自覚を高める。</p>	<p>第1ステージの経験をもとに、実習指導の専門的知識・技能を習得するとともに、得意分野の開発と実践的指導力の向上及び視野の拡大を図る。</p>	<p>第2ステージの経験をもとに、職務に関する専門性をよりいっそう高め、広い視点から学校運営に積極的に参画するとともに、指導的立場としての力量及び管理的立場としての力量(マネジメント能力)を高める。</p>		
				<p>充実期前期 (11~15年目)</p>	<p>充実期後期 (16年目以降)</p>	
素 養	①実習指導を担うに当たり必要となる素養	理解力、教育的愛情	児童生徒に対する理解と教育的愛情を有している。			
		専門的知識・技能、指導力	実験・実習に関する専門的な知識・技能と実践的な指導力を有している。			
		創造力、対応能力	課題解決に向けた柔軟な発想と対応能力を有している。			
		自覚、協調性、倫理観	組織の構成員としての自覚と協調性を有するとともに、公務員としての倫理観、及び法令順守の精神を有している。			
		教養、人権意識	社会人としての豊かな教養、優れた人権意識を有している。			
実 験 ・ 実 習	②教育の方法及び技術	各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実施	<p>・実習指導に関する技能と知識を習得している。 ・実習に関する施設、設備、器具等の安全及び管理に関する技能と知識を習得している。 ・情報教育機器の活用に関する知識を習得している。</p>	<p>・年間指導計画に基づいて実験・実習の指導により生徒の技能を高めるとともに、児童生徒の実態を把握し、その実態に応じた指導に取り組んでいる。 ・実験・実習に関する施設、設備、器具等を適切に管理している。 ・児童生徒一人ひとりの特性や健康状況等を把握し、実験・実習における安全管理を行っている。</p>	<p>・「学習指導要領」の趣旨・内容を理解し、担当教科・領域の実習指導、特別支援学校における各教科等における指導に関する年間指導計画の工夫・改善を行うとともに、学校や地域の特色を生かした指導方法の改善に取り組み、専門性の向上を図っている。 ・実験・実習に関する施設、設備、器具等の管理の在り方の改善を図っている。 ・児童生徒一人ひとりの特性や健康状況等に応じた実験・実習における安全管理の在り方について、改善を図っている。</p>	<p>・「学習指導要領」の趣旨・内容を理解し、担当教科・領域の実習指導、特別支援学校における各教科等における指導に関する年間指導計画の工夫・改善を行うとともに、学校や地域の特色を生かした実験・実習の開発を行い、校内研究会等で改善案を提案している。 ・実験・実習に関する施設、設備、器具等の管理体制及び実験・実習における安全管理に係る改善案を提案している。</p>
		主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	<p>・学習集団 ・指導評価 ・指導法工夫 ・授業改善 ・主体的、対話的で深い学び ・情報教育機器(ICT)の活用</p>	<p>・指導において、教諭と連携して課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学びの実現に努めている。 ・指導において、情報機器等を積極的に活用するなどの実践をしている。</p>	<p>・情報機器等を活用した教材を開発する等の、工夫ある授業を実践することで、専門性の向上を図っている。</p>	<p>・教諭と連携して、課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学びを実現させるための授業を実践している。 ・情報機器等を活用した教材を開発するなどの、工夫ある授業を実践することで、児童生徒の学びの質の向上を図っている。</p>
児 童 生 徒 理 解 ・ 指 導	④児童及び生徒理解、教育相談、進路指導及びキャリア教育、いじめ・不登校対策⑤特別支援教育等	教育相談、生徒指導、いじめ・不登校対策及び特別な配慮を必要とする児童生徒への指導	<p>・児童生徒一人ひとりの実態把握に基づき、個に応じた教育の重要性を認識している。</p>	<p>・児童生徒の特性や人間関係、家庭環境等を把握し、それらを考慮した指導を行っている。 ・いじめ・不登校等の課題に対して、関係教職員への報告・連絡・相談を密にして対応している。 ・児童生徒の「個別的教育支援計画」、「個別の指導計画」に基づき、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導を行っている。</p>	<p>・児童生徒一人ひとりの特性や人間関係、家庭環境などを多面的に捉え、個に応じた適切な指導を行っている。 ・生徒指導上の課題を把握し、解決に向けて組織的に対応している。 ・いじめ・不登校等の課題について、解決に向けて組織的に対応している。 ・関係機関と連携しながら、「個別的教育支援計画」に基づき実験・実習の側面から「個別の指導計画」の作成に向けた提案と活用を行っている。</p>	<p>・学校全体の児童生徒の実態を的確に把握し、個に応じた適切な指導を組織的に継続して行っている。 ・学校全体の生徒指導上の課題について教職員間で共通理解を図るとともに、課題の解決に向けて、組織的に対応している。 ・組織的な校内支援体制に基づき、合理的配慮を行っている。</p>
		キャリア教育(生き方・進路指導)	<p>・生き方指導</p>	<p>・キャリア教育(生き方・進路指導)の重要性を認識している。</p>	<p>・児童生徒の実態や学校(学科)の特色、地域の実情など様々な視点から現状を把握するとともに、児童生徒に、卒業時点で「何ができるようにさせたいか」を具体的に定めている。</p>	<p>・キャリア教育(生き方・進路指導)に必要な知識を習得し、児童生徒に将来の夢や希望を持たせる指導を行うとともに、地域や故郷への愛着を育む指導を行っている。</p>
学 校 運 営 ・ 教 職 員 連 携	⑥学校運営⑦他の教職員との連携及び協働の在り方	学校安全への対応	<p>・危機管理</p>	<p>・専門分野の実験・実習に関して、想定しうる危険性とその対応策を把握している。</p>	<p>・危機管理体制(危機管理マニュアル)を把握し、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう適切な対応や危機の未然防止に努めている。</p>	<p>・危機管理体制(危機管理マニュアル)を把握し、学年や学校全体を広く見渡す視点に立って、過去の事例に学びながら、迅速な対応及び危機の未然防止に努めている。</p>
		家庭・地域とつながる力	<p>・学校、家庭、地域との連携</p>	<p>・地域社会に貢献することについて、自分なりの考えを持ち、実行しようとしている。</p>	<p>・家庭・地域と連携し、児童生徒を共に育てようとする関係を築いている。</p>	<p>・家庭・地域・関係機関等と連携し、組織的な対応をしながら児童生徒の指導を推進している。</p>
		組織として連携・協働する力(同僚、関係機関、異職種)	<p>・目標 ・業務改善 ・事務 ・外部 ・チームマネジメント ・協働的教職員集団づくり</p>	<p>・集団で業務を遂行する際、自らの役割に応じて適切に行動し、力を発揮している。</p>	<p>・管理職や同僚の指導・助言を受けながら、組織の中における役割や責任を自覚するとともに、その一員としての業務を遂行している。</p>	<p>・同僚と協働しながら適切に業務を遂行するとともに、関係機関・異職種との連携を適切に行っている。 ・学年や教科等の組織から学校全体を広く見渡す視点に立って、自校の特色について把握し、その特色を生かした実践を行っている。</p>
			<p>・各期(ステージ)において、学校教育目標の達成に向けて管理職及び同僚と協働しながら取り組むとともに、取組の継承や後継者育成を意識しながら業務を遂行している。</p>			

鳥取県公立学校の教職員としての資質の向上に関する指標【寄宿舎主任・寄宿舎副主任・寄宿舎指導員(案)】

平成31年4月 日 鳥取県教育委員会

観点 指針の配慮項目番号 キーワード	職 寄宿舎指導員				寄宿舎主任 寄宿舎副主任	
	キャリア スタート期 (採用時)	育成期(第1ステージ) (1~5年目)	向上期(第2ステージ) (6~10年目)	充実期(第3ステージ) (11年目以降)		
ステージ						
		<p>寄宿舎指導員としての必要な基礎的素養・指導技術を広く習得し、実践的指導力を身に付けるとともに、学校組織の一員としての自覚を高める。</p>	<p>第1ステージの経験をもとに、舎生の指導についての専門的知識・技能を習得するとともに、得意分野の開発と実践的指導力の向上及び視野の拡大を図る。</p>	<p>第2ステージの経験をもとに、職務に関する専門性をよりいっそう高め、広い視点から寄宿舎運営に積極的に参画するとともに、指導的立場としての力量及び管理的立場としての力量(マネジメント能力)を高める。</p>		
				充実期前期	充実期後期	
素養	① 理解力、教育的愛情	児童生徒に対する理解と教育的愛情を有している。				
	② 専門的知識・技能、指導力	舎生の指導に関する知識と実践的な指導力を有している。				
	③ 創造力、対応能力	課題解決に向けた柔軟な発想と対応能力を有している。				
	④ 自覚、協調性、倫理観	組織の構成員としての自覚と協調性を有するとともに、公務員としての倫理観、及び法令順守の精神を有している。				
	⑤ 教養、人権意識	社会人としての豊かな教養、優れた人権意識を有している。				
日常生活上の世話	② 教育の方法及び技術	<p>各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実施</p> <p>・指導計画</p>	<p>・障がいや支援方法に関する技能と知識を習得している。</p> <p>・「学習指導要領」の趣旨を踏まえ、舎生一人ひとりの健康・障がいの程度等を把握し、教職員や保護者と連携して児童生徒一人ひとりに応じた適切な支援を行っている。</p>	<p>・「学習指導要領」の趣旨を踏まえ、舎生の実態や学校、地域の特色を生かした支援方法の改善に取り組み、教職員や保護者と連携して児童生徒一人ひとりに応じて支援の充実を図っている。</p>	<p>・「学習指導要領」の趣旨を生かし、現状分析をもとに教職員や保護者と連携して学校や地域の特色を生かした支援方法の開発を行い、改善案を提案している。</p>	<p>・校長の示す学校教育目標や学校として目指す方向性、及び教育活動の在り方を踏まえ、寄宿舎の特色化・魅力化づくりに積極的に関与している。</p>
		<p>舎生の理解と寄宿舎運営</p> <p>・舎生との関わり ・集団づくり</p>	<p>・寄宿舎運営計画をもとに、適切に業務を遂行している。</p>	<p>・寄宿舎運営において、舎生の個別理解を図るとともに、集団の状況を把握している。</p>	<p>・運営目標に対する寄宿舎の現状を的確に分析し、改善に向けた具体的な方策を提案している。 ・寄宿舎運営の具体的な方策を、寮務主任等と協力して立案し、実行している。</p>	
舎生の理解と生活指導	④ 児童及び生徒理解、教育相談、進路指導及び特別支援	<p>教育相談、キャリア教育、生徒指導及びいじめ・不登校対策</p> <p>・個への対応 ・コミュニケーション能力 ・生き方指導</p>	<p>・児童生徒一人ひとりの実態把握に基づき、個に応じた教育の重要性を認識している。</p> <p>・教育相談や生徒指導を適切に行う上で必要な理論や技法について理解するとともに、舎生の特性や人間関係、家庭環境等を把握し、それらを考慮した指導・支援を行っている。</p> <p>・いじめ・不登校等の課題に対して、関係教職員への報告・連絡・相談を密にして、解決に向けて対応している。</p> <p>・舎生の実態や学校(学科)の特色、地域の実情など様々な視点から現状を把握するとともに、舎生の自立に向けた適切な生活指導を行っている。</p>	<p>・舎生一人ひとりの特性や人間関係、家庭環境などを多面的に捉え、個に応じた適切な指導・支援を行っている。</p> <p>・同僚の生徒指導上の悩みを理解し、課題の解決に向けて指導・助言を行っている。</p> <p>・いじめ・不登校等の課題について、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携し、課題の解決に向けて組織的に対応している。</p> <p>・舎生の夢や希望及び実態を的確に把握し、キャリア教育(生き方・進路指導)の視点に立ち、個に応じた適切な指導を行っている。</p>	<p>・舎生の実態を的確に把握し、個に応じた適切な指導・支援を組織的に継続して行っている。</p> <p>・舎生の生徒指導上の課題について教職員間で共通理解を図るとともに、課題の解決に向けて、関係機関と連携しながら組織的に対応している。</p> <p>・キャリア教育の全体計画や年間指導計画の内容を理解し、系統だった指導を組織をまとめながら適切に実践している。</p>	<p>・個々の舎生の実態を的確に把握し、関係教職員との連携を積極的に図り、課題に対して対応案を提案することで、組織的な対応ができる体制づくりに努めている。</p>
		<p>特別な配慮を必要とする児童生徒への指導</p> <p>・特別支援教育の視点</p>	<p>・舎生の実態把握に基づいた「個別的教育支援計画」、「個別の指導計画」に基づき、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を行っている。</p>	<p>・関係機関と連携しながら、「個別的教育支援計画」に基づき「個別の指導計画」の作成に向けた提案と活用を行っている。</p>	<p>・組織的な校内支援体制を構築し、関係機関等と連携を図りながら合理的配慮を行っている。</p>	
学校運営・教職員連携	⑥ 学校運営の他の教職員との連携及び協働の在り方	<p>学校安全への対応</p> <p>・危機管理</p>	<p>・寄宿舎において、想定しうる危険性とその対応策を十分把握している。</p>	<p>・危機管理体制(危機管理マニュアル)を把握し、舎生が安心して学校生活を送ることができるための適切な対応や危機の未然防止に努めている。</p>	<p>・危機管理体制(危機管理マニュアル)を把握し、寄宿舎を広く見渡す視点に立って、過去の事例に学びながら、迅速な対応及び危機の未然防止に努めている。</p>	<p>・危機管理体制(危機管理マニュアル等)を把握し、必要に応じて危機管理体制の点検や改善をしている。</p>
		<p>家庭・地域とつながる力</p> <p>・学校、家庭、地域との連携</p>	<p>・地域社会に貢献することについて、自分なりの考えを持ち、実行しようとしている。</p>	<p>・家庭・地域と連携し、舎生を共に育ていこうとする関係を築いている。</p>	<p>・家庭・地域・関係機関等と連携し、組織的な対応をしながら舎生の指導を推進している。</p>	<p>・家庭・地域・関係機関等との連絡・調整に努め、必要な情報を収集・発信しながら、学校課題の解決に向けた校内体制を構築している。</p>
		<p>組織として連携・協働する力(同僚、関係機関、異職種)</p> <p>・目標 ・業務改善 ・事務 ・外部 ・チームマネジメント ・協働的教職員集団づくり</p>	<p>・集団で業務を遂行する際、自らの役割に応じて適切に行動し、力を発揮している。</p>	<p>・管理職や同僚の指導・助言を受けながら、組織の中における自らの役割や責任を自覚するとともに、その一員としての業務を遂行している。</p>	<p>・同僚と協働しながら適切に業務を遂行するとともに、関係教職員との連携を適切に行っている。</p> <p>・寄宿舎全体を広く見渡す視点に立ち、自校の特色について把握し、その特色を生かした実践を行っている。</p>	<p>・寄宿舎の課題の解決に向けて、関係教職員との連携を計画的かつ積極的に行い、組織力を向上させている。</p> <p>・組織全体について、自己の経験を生かしながら内外の環境要因を広く見渡し、その特色を生かした「チーム学校」(効果的・効率的な組織)としての教育活動を展開している。</p>
		<p>・各期(ステージ)において、学校教育目標の達成に向けて管理職及び同僚と協働しながら取り組むとともに、取組の継承や後継者育成を意識しながら業務を遂行している。</p>				

平成31年度教職員研修の概要

鳥取県教育センター

1 教職員研修の基本方針

「鳥取県公立学校の教員・校長としての資質の向上に関する指標」を踏まえた研修を実施する。

- (1) 教職員のキャリアステージに沿って研修を体系化し、教職経験に応じて職務の遂行に必要な資質・指導力の向上を図る研修を実施する。
- (2) 本県教育の現状と課題をふまえ、今日的な教育課題の解決に向けた研修を実施する。
- (3) 教職員のニーズに応じた研修内容・方法等の工夫改善を図り、多様で効果的な研修を実施する。

2 教職員研修体系の概要

ステージ	育成期(第1ステージ)	向上期(第2ステージ)	充実期(第3ステージ)		
	1~5年目	6~10年目	11~15年目	16年目以降	
重点内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導の基礎 ・生徒指導の基礎 ・自己成長のマネジメント及び組織貢献の基礎 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導の専門的知識や技能の習得 ・生徒指導・学級経営の充実 ・自己成長のマネジメント及び組織貢献の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導・生徒指導の専門性や指導力の拡充 ・組織貢献力の向上 ・学校運営の中核としての企画・運営やチームマネジメントの展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導・生徒指導の専門性や指導力の向上 ・メンターとしての実践力の向上と組織力の充実 ・学校組織マネジメント能力の習得とリーダーシップの発揮 	
基本研修	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>若手育成研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規採用研修 初任者研修 2年目研修 3年目研修 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>6年目研修</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>中堅教諭等(11年目研修等)資質向上研修</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>16年目研修</p> </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>キャリアデザイン研修 【最終年】</p> </div>
職務研修	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>若手育成研修</p> </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学校経営研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin: 2px;">ミドルリーダー研修 <li style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin: 2px;">学校リーダー研修 <li style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin: 2px;">新任主幹教諭研修 <li style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin: 2px;">副校長・教頭研修 <li style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin: 2px;">校長研修 <li style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin: 2px;">新任事務長研修 <li style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin: 2px;">新任教頭研修 <li style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin: 2px;">新任副校長研修 <li style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin: 2px;">新任校長研修 <li style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; margin: 2px;">事務主幹・事務長等研修 </div>		
その他	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学力向上対策セミナー</p> </div>				
専門研修	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>幼児教育、教科指導等、情報教育、特別支援教育、教育相談・生徒指導・学級経営等、各種教育等</p> </div>				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>鳥根県教育センターとの連携講座</p> </div>				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主任・主事等研修</p> </div>				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>職務に応じた研修</p> </div>				

平成31年度教職員研修講座一覧

		研修名
基本研修	幼稚園	新規採用教員研修
	小学校・義務教育学校	初任者研修
	中学校・義務教育学校	初任者研修
	高等学校	初任者研修
	特別支援学校	初任者研修
	養護教諭	新規採用教員研修
	小学校・義務教育学校	2年目研修
	中学校・義務教育学校	2年目研修
	高等学校	2年目研修
	特別支援学校	2年目研修
	養護教諭	2年目研修
	小学校・義務教育学校	3年目研修
	中学校・義務教育学校	3年目研修
	高等学校	3年目研修
	特別支援学校	3年目研修
	養護教諭	3年目研修
	小学校・義務教育学校	6年目研修
	中学校・義務教育学校	6年目研修
	高等学校	6年目研修
	特別支援学校	6年目研修
	養護教諭	6年目研修
	小学校・義務教育学校	中堅教諭等資質向上研修
	中学校・義務教育学校	中堅教諭等資質向上研修
	高等学校	中堅教諭等資質向上研修
	特別支援学校	中堅教諭等資質向上研修
	小学校・義務教育学校	16年目研修
	中学校・義務教育学校	16年目研修
高等学校	16年目研修	
特別支援学校	16年目研修	
全校種	キャリアデザイン研修	
職務研修	学校経営研修	新任校長研修(全)
		校長研修(全) A・B・C・D
		新任副校長研修
		新任教頭研修(全)
		副校長・教頭研修(全) A・B・C・D
		新任事務長研修
		事務主幹・事務長研修 A・B・C・D
		2年次校長評価者研修(全)
		副校長評価者研修・2年次教頭評価者研修(全)
		新任主幹教諭研修
		学校リーダー研修(全)
		ミドルリーダーステップアップ研修(小・中)
		主任・主事等研修
	教務主任研修(高)	
	新任生徒指導担当者研修(小・中・特)	
	新任保健体育主事研修(全)	
	新任道徳教育推進教師研修(小・中)	
	新任特別支援教育主任研修(小・中・高)	
	新任情報化推進リーダー研修(小・中)	
	新任情報化推進リーダー研修(高・特)	
	職務に応じた研修	養護教諭研修(全)
		特別支援学級新任担任研修(小・中)
		通級指導教室担当者研修(全)
		栄養教諭・学校栄養職員研修(小・中・特)
		実習教諭・実習職員研修(高・特)
		寄宿舎指導員研修(特)
		教育相談・不登校担当教員研修(小・中)
		教育相談担当教員研修(高)
		新任司書教諭研修(全)
		司書教諭研修(小・特)
		司書教諭研修(中・高)
		学校事務職員1年目研修(全)
		学校事務職員フォローアップ研修(全)
学校事務職員パワーアップ研修(全)		
新任事務副主幹・新任事務次長研修(全)		
事務副主幹・事務次長研修(全)		
新任事務主幹研修		
事務主幹研修		
学校事務職員研修(全)		
講師研修(小・中)		
講師研修(高・特)		

研修区分	研修名
幼児教育	幼児教育①
	幼児教育②
	幼児教育③
	幼児教育④
教科指導等	小学校 国語
	中学校 国語
	高等学校 国語
	小・中学校書写、高等学校書道
	小学校 社会
	中学校 社会
	小学校 算数
	中学校 数学
	高等学校 数学
	小学校 理科
	高等学校 理科
	小学校 音楽
	中・高等学校 音楽
	小学校 図画工作
	中・高等学校 美術
	中・高等学校 保健体育
	中学校 技術
	小学校 家庭
	小学校 外国語活動・外国語
	中学校 英語
	高等学校 英語
	小学校 道徳
	中学校 道徳
	小・中学校 総合的な学習の時間
	小・中学校 特別活動
	高等学校 商業
	情報教育
ICT活用教育②	
プログラミング教育	
情報モラル教育	
特別支援教育	幼稚園・保育所(園)・認定こども園特別支援教育
	小学校特別支援教育
	中学校特別支援教育
	高等学校特別支援教育
	特別支援学校①
	特別支援学校②
学生教育級指導等	教育相談①
	教育相談②
	小学校教育相談
	中学校教育相談
	高等学校教育相談
各種教育等	生徒指導
	小学校 学級経営
	中・高等学校 学級経営
	食育
	図書館教育(中・高)
その他	人権教育
	健康教育
	ふるさと教育
	博物館連携講座
キャリア教育	
学力向上対策セミナー	小学校 算数
とっとり未来教師セミナー	
土曜自主セミナー	

★専門研修「教科指導等」について、以下の講座は隔年で開催する。
 (H31/H32)
 (中学校社会／高等学校地理歴史・公民)
 (高等学校理科／中学校理科)
 (中・高等学校保健体育／小学校体育)
 (中学校技術／中・高等学校家庭)
 (小・中学校総合的な学習の時間／小学校生活)
 (小・中学校書写、高等学校書道／高等学校情報)

平成30年度 研修講座の概要・評価について

平成31年3月15日
教育センター

1 研修講座概要

(1) 基本研修（悉皆研修）

- ア 初任者研修（小・中・義・高・特）・新規採用教員研修（幼稚園等・養護教諭）
- イ 教職経験者研修
 - ア) 2年目研修（小・中・義・高・特・養護教諭）
 - イ) 3年目研修（小・中・義・高・特）
 - ウ) 中堅教諭等資質向上研修（小・中・高・特・養）
 - エ) 16年目研修（小・中・義・高・特）
 - オ) キャリアデザイン研修（47歳・48歳の教諭）

(2) 職務研修（悉皆研修）

- ア 学校経営研修（校長・副校長・教頭 等）【12講座】
- イ 主任・主事等研修【6講座】
- ウ 職務に応じた研修【23講座】

(3) 専門研修（希望研修）

- ア 幼児教育 【4講座】
- イ 教科指導等 【31講座】
- ウ 各種教育課題等【27講座】
 - ・情報教育（4講座）
 - ・特別支援教育（8講座）
 - ・教育相談・生徒指導・学級経営等（8講座）
 - ・各種教育等（7講座）

2 評価

(1) 評価方法

研修終了直後、受講者に4段階評価でアンケート調査を実施
評価（自己成長や資質向上に）

4（十分つながる） 3（概ねつながる） 2（あまりつながらない） 1（つながらない）

(2) アンケート集計結果

平成30年度基本研修・職務研修・専門研修アンケート集計結果・・・別添資料

(3) 研修全体の評価について

研修全体をとおして、高い評価をいただいている。今後は、鳥取県公立学校の教員としての資質の向上に関する指標を踏まえ、キャリアステージに応じた体系的かつ効果的な研修を計画し、教育課題に対応した講座の実施に努めていきたい。

平成30年度の教職員研修の実施状況

基本研修

校種等	研修項目	受講者 総数(延 べ人数)	評価(%)				3以上 の割合
			4	3	2	1	
幼稚園	新規採用研修 ①～⑨	192	93	7	0	0	100
小学校	初任者研修 ①～⑫	944	87	13	0	0	100
	2年目研修 ①～③	198	84	15	1	0	99
	3年目研修①～③	208	75	25	0	0	100
	中堅教諭等資質向上研修 ①～⑥	100	70	29	1	0	99
	16年目研修①～③	42	50	50	0	0	100
中学校	初任者研修 ①～⑫	430	89	11	0	0	100
	2年目研修 ①～③	100	71	28	1	0	99
	3年目研修①～③	84	79	20	1	0	99
	中堅教諭等資質向上研修 ①～⑥	65	78	22	0	0	100
	16年目研修①～③	63	68	32	0	0	100
高等学校	初任者研修 ①～⑫	107	97	3	0	0	100
	2年目研修①～③	13	100	0	0	0	100
	3年目研修①～③	12	58	42	0	0	100
	中堅教諭等資質向上研修 ①～⑥	155	71	28	1	0	99
	16年目研修①～③	60	38	62	0	0	100
特別支援学校	初任者研修 ①～⑫	226	95	5	0	0	100
	2年目研修①～③	46	94	6	0	0	100
	3年目研修①～③	60	80	20	0	0	100
	中堅教諭等資質向上研修 ①～⑥	56	75	25	0	0	100
	16年目研修①～③	24	75	25	0	0	100
養護教諭	新規採用研修 ①～⑩	129	84	16	0	0	100
	2年目研修①③	18	61	39	0	0	100
全校種	キャリアデザイン研修A・B	135	37	60	3	0	97

職務研修

研修項目	受講者 総数(延 べ人数)	評価(%)				3以上 の割合
		4	3	2	1	
学校経営研修	935	64	35	1	0	99
主任・主事等研修	240	52	46	2	0	98
職務に応じた研修(学校事務職員研修以外)	950	61	38	1	0	99
職務に応じた研修(学校事務職員研修)	358	58	41	1	0	99

専門研修

研修項目	受講者 総数(延 べ人数)	評価(%)				3以上 の割合
		4	3	2	1	
幼児教育	247	75	25	0	0	100
教科指導等	750	80	19	1	0	99
情報教育	132	67	30	3	0	97
特別支援教育	540	72	28	0	0	100
教育相談・生徒指導・学級経営	652	76	24	0	0	100
各種教育等	242	65	34	1	0	99

【評価(自己成長や資質向上に)】4(十分つながる) 3(概ねつながる) 2(あまりつながらない) 1(つながらない)